



★マイオピニオン★
意見・私見

「学舎に棲む大人に見えない魔物」

柳原地区 広報部員 堀川弘之

以前、この紙面をお借りして『いじめ問題』について書かせて頂いたことがありますが、私自身まだまだ勉強不足だったこともあり稚拙な内容でした。今回再びこの様な機会を与えて頂きましたので、改めて『いじめ問題』について述べて貰いたいと思います。

皆さんもお分かりだと思えますが、大人たちには分からない・見えない・気づくことの出来ない子供たちだけにか触れられない世界があるのだと思います。例えば親や学校関係者がどんなに真実を聞き出そうとしても子供たちは事実をひたすら隠そうとします。何故なら加害者にしてみれば当然周りの大人からは良い子として扱われたいので適当な嘘やごまかしでとりつくりたいです。被害者は言うまでもなく、いじめの事実を大人に告げ口したことが加害者の耳に入りいじめがエスカレートする事を最も恐れているため、話したい気持ちはあるはずなのに、本当のことは話せないのです。いじめの標的になりうる可能性はどの子にもあるでしょうし、いじめられ

方であるはずの親にも見放され益々孤立に至ってしまうのではないのでしょうか。現状が見えづらくないことは確かですがいじめをなくすことは必ずしも不可能ではないと考えています。まずはやはり親や教師、周りの大人たちが気づくことだと思います。子供は自ら口に出すことは難しいでしょうから、サインに気を配らなければならぬのです。学校で使う備品(教科書・ノート・制服・体操着・プリント・連絡帳等)を隠したり、備品をよやく無くするなど、持ち物にいたずらをされていたりして親に見られる事により発覚するのが怖いからでしょう。学校での話題を話すのを極度に嫌がったり拒んだりすることもいじめを見抜くポイントではないでしょうか。いじめの実体を知っているのは被害者本人だけです。加害者からすればいじめているという罪の意識すら薄れてしまっていることでしょう。又いじめに対してやり返させるなどは絶対にしてはいけません。より追いつめてしまうことでしょう。昔のいじめと明らかに違うのだという認識を持たなくてはならないでしょう。最悪の事態を防ぐためにクラスだけでなく学校全体で取り組むべきなのでしょう。

但し、何らかのきっかけでいじめに気づいたからと言って子供に許可なく学校に行くなどもつての他です。親心からすれば訴えに行かずにはいられないことだとは思いますが、しかし、何度も言うようにいじめられている子供はいじめられている子供の耳に告げ口の事実が届くことを恐れています。そして、そうなった場合にいじめがエスカレートしてしまうのが必至であるにも関わらず、登校することを余儀なくされてしまい、更に追い込まれてしまうことでしょうか。また、親子間の信頼関係を崩さない為にも重要なことなのではないでしょうか。(あくまで、子育て経験の無い輩の戯言程度だと思いたいと思います。)

今はまさにゲーム感覚でのいじめ(加害者側にすれば悪ふざけなのかもしれないけど)が横行しているように感じます。まとまりの無い乱文でとても申し訳ないのですが皆様方からご意見、またご叱責等々頂戴できればありがたいです。

降雪時駐車場使用についてのお願い

総合学習センター(飯山市民館・市立飯山図書館・飯山市民館・女性センター・未来・飯山市ふるさと館)の駐車場使用につきましては、夜間(夜10時以降)及び早朝の駐車は除雪作業の妨げになりますので、ご遠慮ください。また、特別な理由により駐車される場合は、飯山市民館(電話⑩3342)まで申し出てくださいます。

★マイオピニオン★
意見・私見

「公民館の事業を通して思う事」

鉄砲町公民館長 常田 誠

私が公民館の活動に携わって早1年が過ぎようとしています。思えば昨年の11月の終わり頃、字町区役員の依頼を受けまして公民館長の役を引き受けましたが、何分にも私自身、若かりし頃も公民館の事業や行事などには携わった事も少なく、初めは何かと戸惑う事ばかりでした。

そのような中で思い出されるのは、今年10月の始めに開催された飯山地区運動会の事です。5月開催されたソフトボール大会や6月のマレットゴルフ大会などの行事に、私も字町は人数不足のため不参加せざるしかありませんでした。しかし、運動会だけは区民の力で何とか出場しようと思っただけに、選手の人数集めには大変苦労をいたしました。毎年各字町の不参加が増えていく中、私たち字町も苦しい中何とか出場できました事を大変うれしく思います。

当日は突然都合ができて、参加できない人も出ましたが、少ない人数の中でも競技役員・専門部員の傍ら選

こんな講座をやってみたい！
総合学習センター講座内容募集
総合学習センターでは、次年度の講座を考えるにあたり、皆様のご意見を募集いたします。やってみたい講座、教えてもらいたい講師、こんなことを教えてみたい方など、ご意見をお寄せください。
連絡先：総合学習センター飯山市民館
(Tel.62-3342 FAX 62-5940)
E-mail: kouminkan@city.iiyama.nagano.jp

千曲みずる会作品展
飯山市民館1階通路において、千曲みずる会の作品が12月8日から展示されています。
ぜひお立ち寄りください。

総合学習センターに作品を展示してみませんか
総合学習センター(飯山市民館)では、館内の市民ギャラリー等に展示していただける作品を募集しております。展示期間は概ね1ヶ月以内ですが、それ以上を希望される場合はご相談ください。
サークルや団体の発表の場として、個人の作品の展示場としてご利用いただければと思います。
詳しくは、飯山市民館(Tel.⑩3342)までお問い合わせください。

人権学習シリーズ

「人権の世紀」に向けて

飯山市民館長 清水 侃

世界人権宣言からもうすぐ60年になります。「差別を撤廃し、人権を確立することが恒久平和に通じる」という趣旨によるもので、毎年12月4日から10日までで、「人権週間」として、人権意識を高めるための様々な啓発活動が行われています。こうした活動によって、その意識は徐々に広がりを見せているものの、会社や組織、また、学校でのいじめなど身近なところにもまだまだ偏見からくる差別意識や悲しい差別の実態があります。また、「人と同じであることに安心感を覚える日本人は、他人についても」変わっている人“を差別する傾向にある。”と指摘する外国人もいます。

島国の日本は、民族紛争や宗教による過激な対立こそありませんが、基本的人権の尊重を謳い上げている先進的な憲法を持ちながら、意識レベルでは必ずしも世界に胸を張れる状況にないのが、残念ながら現実ではないでしょうか。

日本の社会は今、世界に類例を見ない速さで超少子高齢

社会へと向かっています。少ない人間で、抱えきれない程多くの高齢者を支えていかなければならない時代が、すぐそこまで迫っているのです。高齢者虐待の悲劇を時おり耳にするにつけ、今後、老人ホームや医療・介護施設なども含め、社会は現実論として、どこまで高齢者の人権を尊重して対応していけるのかという構造的な不安も感じます。

少子高齢化問題は、社会全体の改造なくして解決できない大きなテーマです。未来への社会制度を十分整えて臨む必要があります。高齢者自身も今まで以上に必要となるでしょう。

21世紀は、「人権の世紀」とも言われています。障がいを持つ人や女性への偏見、部落差別など、すべての人権侵害をなくす感覚をお互いに高めていきたいものです。

一人ひとりの力は小さくても、それぞれが、まず、自分の受け持つ“一隅を照らす”行動が大切です。すべてはそこから始まると思えます。